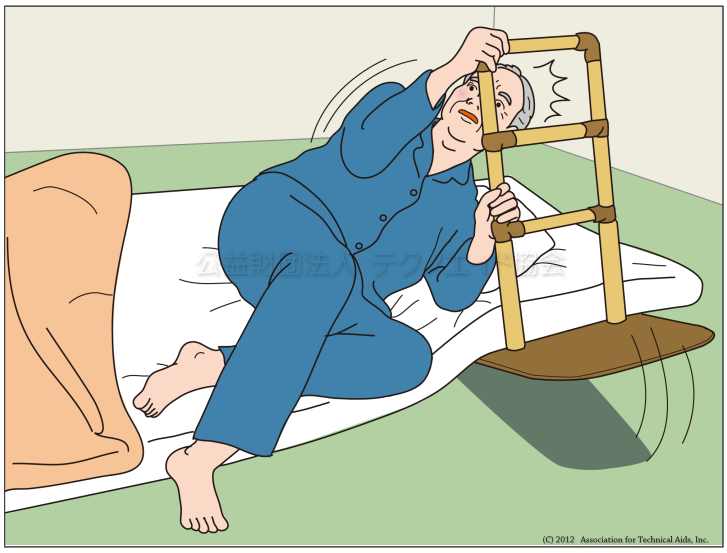
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：225
ベースごと大きく傾き、ひっくり返りそうになる

場面の説明

手すりを引っ張るようにして立ち上がろうとしたため、手すりが傾いてひっくり返りそうになった



利用シーン	起居・就寝 立ち座り
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	手すり
分類コード (CCTA95)	123009 (床置き式起き上がり用手すり)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

床置き形の手すりは、比較的導入が簡単で効果が大きいことから、特に在宅での利用が進んでいます。ただし、手すりを引く（押す）方向によっては不安定になることがあり、使い方には注意が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：手すりが倒れると思っていなかった
人：力のかけ方によっては倒れてしまう手すりであることを説明していなかった
環境：立ち上がりの動作と床置き手すりの特徴から、安全な使用ができるかどうかの判断をする人が関与していなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：225

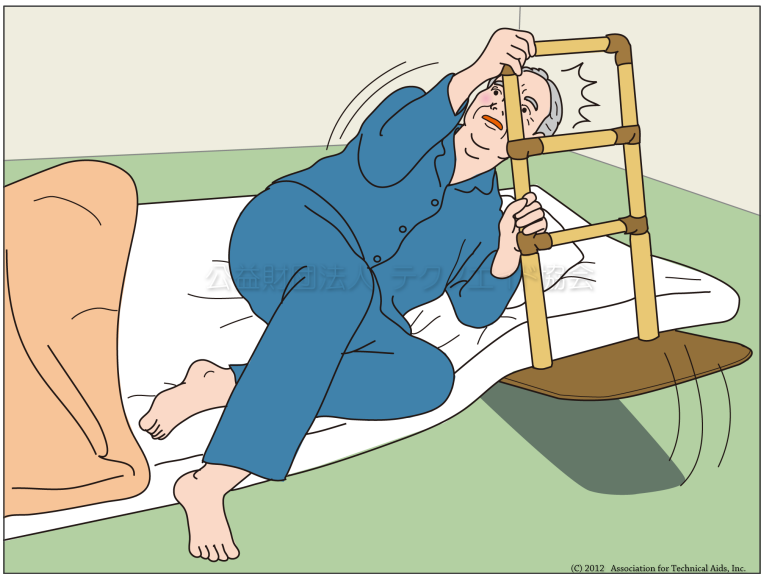
ベースごと大きく傾き、ひっくり返りそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

手すりを引っ張るようにして立ち上がろうとしたため、手すりが傾いてひっくり返りそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.